

入試情報

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	内 申 点 計 算 方 法
学力検査、面接等 3/8(火)	2/17(水) ~23(火)	3/14(月)	1・2年生の3学期または後期 +3年生の2学期または後期 (5段階×9教科×3学年=135点満点)

教育のプロ
トライさん



傾向

平成27年度入試より、前期・後期2回に分けて実施されていた入学者選抜が一本化された。

学力検査と調査書、面接が基本的な「選抜資料」となる。これを元に一回の検査で以下の2つの選抜が実施される。

『一般選抜』: 「選抜資料」に各高校が必要に応じて作文、実技検査等を加える。

『特色化選抜』: 各高校および学科の特色に応じて「選抜資料」の配点等を一般選抜とは別に定める。

募集定員は、全募集人員の10%~50%の範囲で各高校が独自に定めており、高校・学科により異なる。

『再募集』: 入学者選抜で欠員が生じた高校では再募集を実施する。再募集を実施する高校は合格発表日に発表される。

科目別対策

英 語

形式が多少変わっても、英作文の力を重視する点が大きな特徴である。英文のきまりを押さえて普段から英文を書く練習をしよう。英作文練習には教科書の基本文の暗記は効果的。どのような状況にも応じた英文を作れるように、他県の過去問を用いて様々な英作文に取り組んでおこう。長文読解は長めなので、単語、熟語の知識を身につけて素早く読む練習をしよう。

数 学

大問5問から、中学数学の内容が万遍なく出題される。大問1と2の小問集合は、基本から標準レベルの問題を中心に構成されていて、配点は50点前後である。また、大問3~5では関数・図形の問題が出題されるが、各大問の前半の問題ほど正答率が高い。これら正答率の高い問題と、小問集合でミスをせず得点するために、計算・基礎問題を速く正確に解く練習は欠かせない。

国 語

聞き取り・漢字・古典・作文・随筆と小説の大問6題で構成。随筆では文章の内容を理解して筆者の主張を正しく読み取る力、小説では人物の心情をとらえる力が重要。与えられた条件に従い自分の考えを書く問題もあるので、身近な出来事や新聞記事などについて、自分の意見を200字程度で書く練習をしよう。古典では基礎的な内容が出題されるので、基礎を確実にしよう。

理 科

ここ数年は大問7問で構成。考える力が重視されており、実験や観察の過程・結果を正しく読み取る問題や、グラフの読み取り・計算・作図から考える問題が出題される。用語を丸暗記するのではなく、実験や観察とあわせて正しく理解することが必要である。そのために過去問や模試を解いて、理解不足の単元は、基本問題集に戻って正確に解けるまで繰り返し練習しよう。

社 会

大問数は6~7問で地理・歴史・公民から万遍なく出題される。配点の割合もほぼ同じである。地理はグラフや表の読み取り問題が多い。学習する際は必ず地図帳・資料集を見ながら、主な地域の特色を押さえよう。歴史は出来事の背景や原因を把握し、時代・人物・出来事は必ずセットで覚えよう。公民は語句の暗記が重要。教科書の太字の語句を、前後の文章とあわせて覚えよう。